

せんだいいちこうのさくら

仙台一高のサクラ

高校生の学びを見守るサクラ並木

宮城県仙台第一高等学校(通称:仙台一高)には見事なサクラ並木があります。学校敷地なので中に入ることはできませんが、小高い土手沿いに植えられているので、近くの道沿いからも花を楽しむことができ、近隣住民の目を楽しませています。ソメイヨシノを中心に、シダレザクラも咲き、比較的長い期間お花見

を楽しめるのも魅力です。夏は緑のトンネルのようになり、涼し気な空間をつくり出しています。仙台一高は、井上ひさしの小説『青葉繁れる』のモデルになった地としても広く知られています。勉強に部活動にと高校生が生き生きと過ごす様子を見守り続けているサクラ並木です。

桜東風吸つて野太き応援歌
桜咲く下で青春謳歌した

椿佳香

過去懐かしく思い出す今
赤子沢



▲仙台一高正門付近からサクラ越しに校庭を望む
(撮影:彦坂俊夫)



▲シダレザクラとソメイヨシノ



▲サクラ並木が校庭を囲む(撮影:田中哲郎)

ひとことメモ

「学都仙台」と言われる仙台市。サクラが植えられている学校や学術施設が多く、春になるとあちこちに隠れたお花見スポットが現れます。

アクセスガイド

地下鉄東西線「連坊」下車すぐ

●所在地：若林区元茶畑四

若林区マップA

